

防災小委員会活動報告

防災小委員会
小委員長 戸田 圭一

1. 小委員会の目的

1999年の福岡水害を契機にわが国では地下浸水の問題が顕在化してきている。また2003年の韓国の地下鉄火災事故は、火災に対する地下空間の危険性を再認識させるものであった。人災も含めて災害が多様化、巨大化、複雑化する今日にあって、都市の地下空間をいかに安全・安心な場として活かしていくかは、21世紀の重要課題の一つと位置づけられる。また都市空間の利用という面からは、地下空間はバリアフリーに対して地上の空間以上の配慮が要求されている。

このような背景のもと、「防災小委員会」では、街づくりにおける地下空間の役割を重視し、地上・地下を含めた都市のあり方を見据えながら、地下空間における防災について総合的かつ実践的な研究を推進することを目的としている。

2. 研究内容

2.1 テーマ

「災害に強い街づくりにおける地下空間の防災のあり方」

2.2 基本方針

以下に示す4つのサブテーマについて調査・研究を実施する。

- (1) 地下空間実態調査
- (2) 地下空間のバリアフリー
- (3) 地下浸水
- (4) 地下火災

- ・バリアフリーの課題では、実態調査や情報のバリアフリー化も検討項目とする。
- ・地下浸水、地下火災では避難に関する検討も含める。
- ・得られた成果を一般市民や行政関係者に還元するように努める。

2.3 研究体制

上に記したサブテーマについて、各サブテーマの幹事役を中心としたグループ活動をとおして調査・研究を推進する。得られた成果について、定期的開催する防災小委員会で委員全員で議論を深める。また必要に応じて外部の専門家、学識者、行政担当者を小委員会に招き、意見交換を実施する。

2.4 スケジュール

平成19年度末に報告書作成の予定。なお、活動期間中に成果が得られ次第、研究集会やセミナーなどをとおして研究成果の普及を目指すことも検討中。

3. 活動経過（前体制での活動も含む）

- ◇ 平成 17 年 3 月 24 日 平成 16 年度第 4 回小委員会（京都市内）
 - ・ 報告書（案）の作成について討議
 - ・ 次期小委員会について討議
- ◇ 4 月 27 日 福岡県西方沖地震被害調査
 - ・ 福岡市内被害調査
 - ・ 福岡地下街開発株式会社ヒアリング
 - ・ 福岡市交通局ヒアリング
- ◇ 9 月 14 日 平成 17 年度第 1 回小委員会（土木学会）
 - ・ 自己紹介
 - ・ 前年度活動報告
 - ・ 話題提供（2003 年韓国台風災害，国交省重点施策，地下街浸水危険度評価）
 - ・ 今後の活動方針について討議
- ◇ 11 月 10 日 平成 17 年度第 2 回小委員会（京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー）
 - ・ 地下浸水関連実験の施設見学ならびに体験実験
 - ・ 話題提供（バリアフリー・避難路の評価手法）

4. 委員名簿

（平成 17 年 11 月現在）

役職	氏名	勤務先	役職	氏名	勤務先
委員長	戸田 圭一	京都大学	委員	多田 彰秀	長崎大学
委員	石村 勝伸	(株)ニュージェック	委員	永田 尚人	(株)熊谷組
委員	井田 隆久	(株)銭高組	委員	中山 学	(株)奥村組
委員	大友 譲	(株)ニュージェック	委員	西 淳二	NPO ジョブクチャーフォーラム
委員	栗岡 均	鹿島建設(株)	委員	西田 幸夫	東京理科大学
委員	畔柳 剛	(株)シーエーアイ	委員	日比野 敏	(財)電力中央研究所
委員	後藤恵之輔	長崎大学	委員	堀内浩三郎	国土交通省
委員	小林 誠	(株)インターリスク総研	委員	前田 穰	NTT インフラネット(株)
委員	酒井喜市郎	鉄建建設(株)	委員	松永 浩	東京電力(株)
委員	坂井 哲郎	三井鉱山エンジニアリング(株)	委員	水口 雅晴	三菱地所(株)
委員	澤田 基弘	(株)日建設計シビル	委員	吉松 康公	大阪市
委員	鈴木 祥三	東急建設(株)	幹事	下河内隆文	(株)竹中工務店
委員	清木 隆文	宇都宮大学	幹事	馬場 康之	京都大学